

# 「2008 ISS-OUP Prize」授賞論文

## 紹 介

東京大学社会科学研究所は、日本社会の社会科学研究の国際的なハブ拠点としての役割を果たすことをその使命のひとつとして考えている。その役割を担う事業の一環として、日本社会に関する社会科学研究についての専門的英文レフリー雑誌である *Social Science Japan Journal* (SSJJ) の編集委員会を所内に設置し、1998年からオックスフォード大学出版局 (Oxford University Press) と雑誌を刊行している。SSJJは、1998年4月の創刊号 (第1巻第1号) 以来、年2回の定期刊行物として、2009年12月現在、第12巻第2号 (通巻24号) が刊行されている。

SSJJは、①一般投稿論文、②サーヴェイ論文、③書評論文、④書評の4つの分野から構成されている。一般投稿論文は、社会科学の諸分野の第一線の研究者による日本社会に関するオリジナルな論文を掲載する。サーヴェイ論文は、ある特定のテーマについての最新の研究状況の紹介などを行う。書評論文としては、複数の書籍に関する書評論考を掲載し、書評では、日本語と外国語の書籍それぞれについて2000ワードほどの通常の雑誌よりも長めの書評を掲載している。SSJJは、2009年2月には Social Science Citation Index (SSCI) に掲載されることが決定し、名実共に世界的な日本研究に関する雑誌としての地位を築いた。

さて、東京大学社会科学研究所 (ISS) とオックスフォード大学出版局 (OUP) は、現代日本社会に関する若手研究者の研究を奨励する目的で、2002年度から「ISS-OUP Prize」を設置し、当該年度に SSJJ に掲載された論文のなかで最も優れたものを顕彰する事業を開始した。選考過程について簡略に説明すると、編集委員会においてまず3本の候補論文を決定し、外部アドヴァイザリーボード (8名)、国際アドヴァイザリーボード (30名) から優秀論文の推薦を受けたあと、編集委員会で授賞論文を最終決定する。今回、紹介する論文は、2008年度「ISS-O.U.P. Prize」授賞論文である、Young Kim, “Personnel Management Reforms in Japanese Supermarkets: The Positional Warfare and Limited Assimilation of Conversational Communities” (第11巻第2号、掲載) の原著者の手による日本語版である。なお、SSJJの活動や本論文の授賞理由については、東京大

学社会科学研究所 SSJJ のホームページ (<http://ssji.iss.u-tokyo.ac.jp/>) とオックスフォード  
大学出版局の SSJJ ホームページ (<http://ssjj.oxfordjournals.org/>) をご覧いただきたい。

SSJJ 編集長 石 田 浩